

令和元台風19号災害復旧報告第2号（農地・農業用施設）

令和2年2月27日 栃木県塩谷南那須農業振興事務所

令和元年10月13日台風19号災害による管内の補助申請256箇所の査定が12月で全て終了し、速やかに市町支援業務に着手しました。

和歌山県からは、1月は現場や設計作業等を中心に坂中茂亮さん、2月は事務的作業を中心に瀬藤崇弘さんの応援を頂き、事務所を上げて復旧工事の早期発注、営農再開に向けた支援を行っています。

管内の復旧工事は107件を予定しており、2月末で40件が発注済、他58件で実施設計（うち5件は仮設）が済み発注準備が進んでいます。引き続き、早期完成に向け支援していきます。



和歌山県からの応援職員の活動

実施設計書作成を始め、計画変更（重要変更）のとりまとめや国との協議資料作成など、災害復旧に係る事務的業務を中心に支援していただいています。



応援職員紹介（2月） ※1ヶ月交替で、1月～3月まで1名の応援をいただいています。

瀬藤崇弘さん（派遣元：和歌山県日高振興局）



所属の日高振興局では来年度に圃場整備工事が新規で予定されており、災害現場確認の際には、近くの圃場整備工場の現場もしっかりチェック。

休日には、温泉や社寺など、栃木県の魅力を存分に堪能していただきました。



一言

栃木県を訪れるのは初めてで、雪景色を楽しみにしていましたが今年は暖冬の影響で積雪もなく、若干残念ですが日常生活は過ごしやすかったです。

着任当初は緊張し自分に出来ることを精一杯やり遂げるという意気込みで力んでいたように思いますが、職場の皆さん方には優しく指導頂き、いい意味で力が抜け業務を行えていると思っています。

業務内容としましては、査定設計を精査した実施設計書の作成、これに伴う、事業計画変更の手続きなどを行っています。

今回、栃木県では昨年10月の台風により大きな被害を受けましたが、粘り強い栃木魂で一日も早い復旧復興を願っています。